

## 関西地域の3研究機関が途上国との共同研究を開始！ 共に「知」を創造する科学技術協力～2019年度の採択結果の発表

途上国と日本の研究機関が共同研究を行うことで、地球規模課題に対応する新しい技術や知識を創り出していく科学技術協力(注)。2019年度は12件の事業の採択が決定され、うち関西地方では、大阪市立大学、京都大学、国際斜面災害開発機構の事業が新たに採択されました。

今回初めての採択となる大阪市立大学は、日本企業が有する技術を組み合わせ、ケニアにおいて従来マラリア対策の対象とされていなかった無症候性感染の診断と捕捉、新規殺虫剤等を使用する媒介蚊対策、行動経済学に基づいた住民の行動変容などの総合的なアプローチでマラリア撲滅への対策を研究します。将来的には世界的なマラリア対策の進展に貢献しうるものと期待されます。

大学の先生方へのご取材も調整可能です。ぜひ取材をご検討ください。

日本側	相手国研究機関	事業名	備考
大阪市立大学	ケニア マウント・ケニア大学	熱帯アフリカのマラリア撲滅を目指したコミュニティ主導型総合的戦略のための分野融合研究(感染症領域)	
京都大学	マレーシア サラワク州森林局	マレーシア国サラワク州の国立公園における熱帯雨林の生物多様性活用システムの開発(環境領域)	  
国際斜面災害研究機構	スリランカ灌漑・水資源・災害管理省国家建築研究所	スリランカにおける降雨による高速長距離土砂流動災害の早期警戒技術の開発(防災領域)	  

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国際科学技術技術室 (担当: 岸本茜)

TEL 03-5226-8114, e-mail: Kishimoto.Akane@jica.go.jp

### <地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)>とは>

日本と開発途上国の大学・研究機関等が連携し、新たな技術の開発・応用や新しい科学的知見獲得のための共同研究を実施するとともに、開発途上国の大学・研究機関等の研究水準の向上と総合的な対処能力の強化を行うプログラム。JICA、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の連携により実施しています。( <https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/summary/index.html> )